

年を重ねることの祝福

イントロダクション

- (1) 「いつまでもお元気で、ご活躍ください」「お若いですね」
(例話) ビリー・グラハムのコメント。アン・ロッツへ。
- (2) 巨大化するアンチエイジング産業。年を取ることは悪か、病か？
- (3) 年を取ることに何かの意味を見出すことはできないのか？

このメッセージは、聖書的視点から年を重ねることについて考えようとするものである。

I. 知恵が増し加わるチャンスである。

1. 知識、技術に関しては、若者に劣る。
 - (1) デジタルとアナログの共存こそ重要（英語の辞書の例）
 - (2) 知恵とは知識や体験を動員して、人生の舵取りをする力のことである。
2. 聖句
 - (1) 箴1:7
「【主】を恐れることは知識の初めである。愚か者は知恵と訓戒をさげすむ」
①成功、失敗、喜び、悲しみ、それらすべては主の恵みである。
 - (2) 箴16:31
「しらがは光栄の冠、それは正義の道に見いだされる」
「白髪は輝く冠、神に従う道に見いだされる」（新共同訳）
 - (3) レビ19:32
「あなたは白髪の老人の前では起立し、老人を敬い、またあなたの神を恐れなければならない。わたしは【主】である」

II. 神との関係を見直すチャンスである。

1. 年を取ることに不安：奪われること。
 - (1) 人生が複雑なものから単純なものに整理されてくる。
2. 聖句
 - (1) 詩71:9
「年老いた時も、私を見放さないでください。私の力の衰え果てたとき、私を見捨てないでください」
 - (2) 詩71:17~18
「神よ。あなたは、私の若いころから、私を教えてくださいました。私は今もなお、

あなたの奇しいわざを告げ知らせています。年老いて、しらがになっても、神よ、私を捨てないでください。私はなおも、あなたの力を次の世代に、あなたの大能のわざを、後に来るすべての者に告げ知らせます」

(3) イザ 46 : 3~4

「わたしに聞け、ヤコブの家と、イスラエルの家のすべての残りの者よ。胎内にいる時からになわれており、生まれる前から運ばれた者よ。あなたがたが年をとっても、わたしは同じようにする。あなたがたがしらがになっても、わたしは背負う。わたしはそうしてきたのだ。なお、わたしは運ぼう。わたしは背負って、救い出そう」

Ⅲ. 復活信仰を確認するチャンスである。

1. 年を取ることの不安：死への恐怖。

(1) 母親との会話：もうすぐ死ぬな。

2. 聖句

(2) 2 コリ 4 : 16~18

「ですから、私たちは勇気を失いません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです」

(2) 2 コリ 5 : 1~5

「私たちの住まいである地上の幕屋がこわれても、神の下さる建物があることを、私たちは知っています。それは、人の手によらない、天にある永遠の家です。私たちはこの幕屋にあっとうめき、この天から与えられる住まいを着たいと望んでいます。それを着たなら、私たちは裸の状態になることはないからです。確かにこの幕屋の中にいる間は、私たちは重荷を負って、うめいています。それは、この幕屋を脱ぎたいと思うからでなく、かえって天からの住まいを着たいからです。そのことによって、死ぬべきものがいのちにのまれてしまうためにです。私たちをこのことにかなう者としてくださった方は神です。神は、その保証として御霊を下さいました」

Ⅳ. 隣人に何かを与えることができるチャンスである。

1. 若い頃は自分のことで精一杯である。

2. 自分の証し

(1) かつては、私よりも年上の牧師ばかりであった。今はちがう。

(2) このメッセージも、今になって語れる。

3. 聖句

(1) 2テモ4:5~8

「しかし、あなたは、どのような場合にも慎み、困難に耐え、伝道者として働き、自分の務めを十分に果たしなさい。私は今や注ぎの供え物となります。私が世を去る時はすでに来ました。私は勇敢に戦い、走るべき道のを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです」

①存在そのものが証しになっている。

(2) 1ヨハ2:13~15

「父たちよ。私があなたがたに書き送るのは、あなたがたが、初めからおられる方を、知ったからです。若い者たちよ。私があなたがたに書き送るのは、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからです。小さい者たちよ。私があなたがたに書いて来たのは、あなたがたが御父を知ったからです。父たちよ。私があなたがたに書いて来たのは、あなたがたが、初めからおられる方を、知ったからです。若い者たちよ。私があなたがたに書いて来たのは、あなたがたが強い者であり、神のみことばが、あなたがたのうちにとどまり、そして、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからです。世をも、世にあるものをも、愛してはなりません。もしだれでも世を愛しているなら、その人のうちに御父を愛する愛はありません」

①父たち：成長したクリスチャン

②若い者たち：成長途上のクリスチャン

③小さい者たち：霊的幼子のクリスチャン

結論

老年は、人生の中で最も幸いな季節である。

I. 知恵が増し加わる季節

II. 神との関係が親密になる季節

III. 復活信仰が生きる季節

IV. 隣人を祝福する季節